人心の復興を願って

㈱日本設備工業新聞社
代表取締役社長　高倉克也

例年とは異なり、新型コロナウイルス感染拡大の渦中で新年を迎えました。何よりもまず読者の皆さまが健やかに新しい年を過ごされることを心から願っています。

二〇二一年は東日本大震災から十年目の年でもあります。震災後、津波に襲われた岩手の陸前高田市を訪れた際「わたしたちのことを忘れないで」と語った少女の顔がいまも胸のなかに灼きついています。

渋沢栄一

新年から大河ドラマの主人公となる渋沢栄一も関東大震災の被災者でした。八十三歳の老境にもかかわらず渋沢は生き急ぐように復興活動に奔走します。その姿は感染症という災厄からの復興にあたっても何らかの糧を与えてくれるでしょう。

イギリスの歴史家であるE・H・カーは「歴史とは過去と現在の対話である」と述べています。

いまだ復興途上にある東日本大震災被災地の方々に想いを馳せつつ歴史を遡ってみたいと思います。

家族を叱って郷里に戻らず

関東大震災は一九二三年九月一日の白昼に発生し、十一万人近くが犠牲になりました。大火災によって東京は瓦礫の焦土と化し、死者は約六万人に達しました。

渋沢は日本橋の事務所で大地震に遭遇し、その夜の火災で飛鳥山の自宅にあった幕末史の資料や『論語』のコレクション、みずからの日記・手紙類をすべて焼失します。家族は高齢の渋沢の身を案じて郷里の埼玉県深谷市に避難することを勧めました。すると渋沢は「わしのような老人は、こういうときに働いてこそ生きている申し訳が立つようなものだ。それを田舎に行けなど卑怯千万な！これしきのことを恐れて八十年の長いあいだ生きてこられたと思うのか」と一喝したそうです。幕臣、官僚、実業家と転身し、日本資本主義の創成期を象徴する人物となった渋沢の並外れた気骨を物語るエピソードです。

後藤新平

労働者と協調 民間活動展開

加藤友三郎首相の死去に伴い震災の翌日に発足した山本権兵衛内閣では医師として衛生行政に携わった経験のある後藤新平が内務相に任命されました。前東京市長として上下水道などのインフラ整備に辣腕を発揮した後藤はただちに帝都復興根本策を起草します。九月二十七日に帝都復興院が発足し、総裁に就任した後藤のリーダーシップによって世界最大級の都市改造計画がスタートしました。

後藤から協力を求められた渋沢は①被災者の救助②義援金の募集③復興計画――の三原則を掲げて民間における復興活動を開始します。労働者と資本家の融和を図るために設立された協調会の副会長を務めていた渋沢は緊急理事会を開き、労使による復興活動への承認を取りつけます。以後、協調会として被災者の保護、炊き出し、災害情報の提供、臨時病院の確保など民間独自の活動を進めていきます。

同時に現在の東京商工会議所である東京商業会議所に有力な実業家を招集し、座長として復興活動の資金調達などを行う新組織の設立を提案しました。九月十一日に貴族院議員も交えた大震災善後会を結成し、副会長として寄付金の募集、被害状況の視察、慰問などに奔走します。

海外も視野に支援を求める

復興活動は国内にとどまらず海外も視野に入れていました。民間外交として四回にわたって渡米していた渋沢には多くの知人がいました。一九〇六年のサンフランシスコ大地震に際しては率先して支援活動にあたり、世界でもっとも多額の義援金を贈って厚く感謝されていました。

大震災善後会設立後、渋沢はさっそくアメリカの知人たちに手紙や電報で復興支援を呼びかけます。サンフランシスコをはじめとする西海岸の都市の実業家を中心に全米各地で義援金募集活動が始まり、総額一〇六〇万ドルという巨額の義援金や大量の救援物資が届きました。アメリカ以外でも支援の輪は広がり、辛亥革命でアジア初の共和制政府を樹立した新生中国はアメリカ、イギリスについで多額の義援金を贈ってきました。指導者である孫文は渋沢と親交が深く丁重な見舞いの手紙を送っています。

利己と同時に他も利せねば

震災の物質的復興に加え、渋沢が何よりも重視したのは人心の復興でした。アメリカへの謝礼会の席上、あいさつを求められた渋沢は「物質的復興は必要なことに相違ないけれども、これればかりでは到底その復興を期することはできない。人心の復興も第一としなければならない」と語っています。あるいは各界著名人による論考を編集した『震災より得たる教訓』で「物質的復興はもとより大切であるが、人心の復興すなわち精神的復興はことに大切である」とし主張しています。

人心の復興とは道徳と経済を一致させることを意味しています。幼い頃に中国儒家思想の始祖・孔子の言行録『論語』を学んで感銘を受けた渋沢は道徳経済合一説を持論としていました。長年にわたる研究の成果として一九一六年に上梓した『論語と算盤』では「富をなす根源は何かといえば仁義道徳。正しい道理の富でなければ、その富は完全に永続することはできぬ」と公益を忘れて私利私欲に走る商人や権力闘争に明け暮れる政治家たちをきびしく戒めています。関東大震災からの復興に際しても「道徳と経済を一致させたならば真正の復興ができると思う。人の本分というものは利己主義ばかりでは満足できない。必ず利己と同時に他も利せねばならぬ」と訴えました。

東日本大震災や感染症からの復興にあたっても渋沢は時空を超えて同様の発言をするとわたしは思います。きわめて困難な状況であるからこそ人々が共に支えあう人心の復興を願っているのではないでしょうか。

十人十家10作品を決定

TDY 写真投稿キャンペーン

TOTO、DAIKEN、YKK AP（TDY）は十二月二十一日、日本最大級の住まいとインテリアのSNSメディア「RoomClip（ルームクリップ）」で開催した三社共同写真投稿キャンペーン「わたしの十人十家（ジュウニントイエ）」の入賞十作品を決定した。こだわりの詰まった多彩な空間が選ばれた。

RoomClipとは、ユーザーが投稿した家の実例写真を中心とした最大規模のSNSメディア。インテリア・家具からDIY、日用品、住宅設備まで「住まいと暮らし」のさまざまなシーンで活用されている。

十人十家は、消費行動がモノからコトへと変化する中で「実現したいライフスタイルは人それぞれで、十人いれば十通りの暮らしの想いがある」との考え方に基づくライフスタイル提案。世代・家族構成・趣味・ニーズなどに合わせて暮らしの想いをかなえる。

同キャンペーンは、TDYの商品を用いた住まいの写真をRoomClip上で募集。新築・リモデル問わず、自由な発想で彩られた応募総数三百五十二点の中から「十人十家大賞」一点、「十人十家賞」九点を選定した。

厳選な審査の結果、otama氏の実例写真＝写真上＝が十人十家大賞に輝いた。植物と小物がバランスよくコーディネートされ、上品で清潔感のある北欧インテリアとなっている。窓から差し込む光が空間を明るく演出し、緑に囲まれたライフスタイルを楽しんでいる様子が高い評価を得た。

26カ月ぶりにプラス

日工会 11月の工作機械受注状況

飯村会長

一般社団法人日本工作機械工業会（飯村幸生会長）は十二月二十二日、東京・芝公園の機械振興会館で月例記者会見を開き、十一月の工作機械の受注状況を発表した。それによると受注総額は前年同月比八・六％増の八百八十六億八千万円で、二十六カ月ぶりにプラスに転じた。

当日は飯村会長、柚原一夫専務理事、長濱裕二常務理事らが出席。冒頭、飯村会長があいさつに立ち「先日JIMTOFオンラインが盛況理のうちに閉幕した。短期間での開催準備を余儀なくされたが、多くの方々にアクセスいただき、ポータルサイトとしての役割を果たせたと自負している。次回は二〇二二年十一月八日に東京ビッグサイトで開催する予定だ。リアル展としての利点を発揮するべく準備を進めている。今年もあと十日となったが、新型コロナウイルスが強烈な圧力となり、リーマンショックに匹敵する規模の不況となった。月間受注総額も五百十二億円まで下がるなど、上期はたいへん厳しい状況となった。下期は回復しつつあるが完全に脱却したと実感するには至っていない。足元では感染症が再度猛威を奮っており、個人・組織で改めて対策を徹底していきたい」と述べた。

このあと、柚原専務理事がマクロ経済の概況などを解説。受注総額の内訳は内需が一三・八％減の二百七十億四千万円（全体日三〇・五％）、外需が二二・五％増の六百十六億四千万円（同六九・五％）となった。

柚原専務理事は「感染再拡大の影響もあり、投資の慎重姿勢が強まるなど内需の回復に遅れが生じた。外需では主要三極すべてで回復傾向が続いている。これを踏まえ、感染拡大と経済活動への影響を注視していく」と述べた。

皆様のご信頼にお応えして……まごころこめて奉仕する。
多様な要求に応える販売拠点。
住宅設備機器と機材の総合商社
稲垣機材 ISC 株式会社
東京都荒川区西尾久7-38-1　〒116-8562　TEL 03(3893)6101　http://www.inagakikizai.co.jp/
荒川営業所　荒川区西尾久　☎03(3893)6111
板橋営業所　板橋区熊野町　☎03(3956)1121
足立営業所　足立区東和　☎03(5682)5801
練馬営業所　練馬区関町北　☎03(3928)1171
京浜営業所　大田区北馬込　☎03(3776)6111
新宿営業所　新宿区早稲田町　☎03(3207)8131
城東営業所　江戸川区中央　☎03(3655)6181
川口営業所　川口市伊刈　☎048(261)8111
深谷営業所　深谷市東方町　☎0485(72)1421
埼玉中央営業所　北足立郡伊奈町栄　☎048(722)6611
日立営業所　日立市弁天町　☎0294(22)6321
いわき営業所　いわき市小名浜　☎0246(53)5171
千葉北営業所　鎌ヶ谷市中佐津間　☎047(444)6221
市場開発室　荒川区西尾久　☎03(3893)5261